

Study UK

英国留学ガイドブック

2024/2025



Please note that all information in this guide is accurate as of August 2024.



目次

・「自分を見つける」英国留学.....	1
・柔軟性と質の高い英国の教育.....	5
・大学/学士課程への出願方法.....	13
・大学院/修士課程への出願方法.....	15
・学生ビザ.....	19
・卒業後の滞在延長資格.....	22
・留学費用、予算、奨学金.....	23
・英国での生活.....	27
・その他の情報.....	35

< PDF版をご覧の方へ >

重要な情報や追加情報を掲載したウェブページにアクセスできるよう設定されたハイパーリンクを、下線を引いた青色テキストで示しています。カーソルを合わせてクリックしてください。



Study UK



<https://study-uk.britishcouncil.org/>

Study UK





「自分を見つける」英国留学

英語発祥の地、英国への留学は、「自分を見つける」機会になるでしょう。英国は留学先として世界で人気が高い国のひとつです。世界中から多様なバックグラウンドを持つ学生を温かく迎え入れる寛容な文化があり、世界で認められている高い学術レベルを誇ります。また、教育を通じて自立的に思考し、創造性を発揮し、人間的な成長を促す伝統もあります。だからこそ、英国留学経験者は卒業後も成長を続け、スピーディにキャリアを積み重ねていくことが可能となります。

新しい学友とのネットワークを築き、豊富な体験を重ねることで、英国留学は生涯にわたって記憶に残る経験となるでしょう。

英国留学で得られるさまざまな刺激は多くの可能性をもたらします。

過去何百年にもわたり、世界の名だたる知識人やクリエイティブな人々が英国の大学で教育を受けてきました。そして今日では、物事の本質を捉えたクリティカル・シンキング(批判的思考)やプロBLEM・ソルビング(問題解決)能力を育てる英国の伝統的な教授法に加え、世界最先端の近代的な学習手法や環境のもとで学ぶことができます。

つまり、英国は創造力を刺激される環境で学びたい人にとって最適の場所と言えます。英国の大学が提供する科目は、その多様性で世界トップクラスですし、独創性と意欲、異なる視点で考える力を育むために必要なサポートと機会を提供します。そして同時に、最も強固な歴史的基盤に基づく一流の教育を受けることができます。

科学、政治、芸術、文学の分野で秀でた才能を持つ著名人が、このような卓越した水準の教育の恩恵を受けてきました。ノーベル賞受賞者の38%、そして世界の指導者の4人に1人が、英国で教育を受けています。

英国には大学以外にもさまざまな学習の機会があり、英国での学びや研究は、大学の教室に限定されていません。定期的な現地調査や視察、小旅行に出かけ、教室で学んだことを現実の状況に当てはめることで、学習を促すことができます。学友と一緒に学習し問題解決を図ることで、互いのアイデアを吟味し、建設的に議論を闘わせ、学びや理論を実務に反映させる方法を正しく理解することができます。このような、知力と批判的思考が求められる環境で学ぶことで、他の学生との競争で優位に立つことができるでしょう。そして想像力が刺激を受け、個人的な経験も広がるでしょう。

世界最高水準の教育

これまで、歴史上の名だたる知識人が英国から刺激を受けてきました。次はあなたの番です。英国留学で大学の学位を取得することで、あなたにも多くの可能性が生まれます。全く新しい考え方やものの見方を知り、自らの学びを高める斬新な教授スタイルに触れることができます。

英国は学問の分野の世界的リーダーであり、世界の大学ランキングで上位10校のうち4校が英国の大学で、トップ200にはさらに25校がランクインしています。多様な科目を提供し、クリティカル・シンキング(批判的思考)の豊かな伝統を持つ英国では、3人に1人を超える学部生が第一級優等学士学位(first-class degree)を取得しています。科学、政治、芸術、文学の分野で多くの著名人が英国で活躍しており、ノーベル賞受賞者の3人に1人に英国で学んだ経験があります。英国では、枠にとらわれず、自分の意見を述べ、知的能力を伸ばすことができます。

英国の学位課程は、最高の学術水準に基づき、現地調査、視察、実践的な経験を取り入れ、学習内容を実社会で応用できるように設計されています。共に問題を解決し、建設的な議論を行うことで、学術的知識がどのように革新的な実践に結びつくかを深く理解することができます。

科学、外交、国際ビジネスのグローバル言語である英語発祥の地、英国で学ぶことは、権威ある学位を取得できるだけでなく、競争上優位に立ち、クリエイティブで才能豊かな人材として成長するために役立ちます。

充実した学生生活

英国で学んだ日々は心に残る体験となり、この地で育まれた友情は生涯にわたって続くものとなります。

英国には、留学中に学業以外でも発見していただきたい多くの魅力があります。国立公園の息をのむような風景から都市のまばゆいばかりのナイトライフ、また、音楽、アート、演劇、映画、文学を友人とともに堪能することができます。

英国が生み出した世界的なスーパースターには、ハムレットからハリーポッター、ビートルズ、ローリング・ストーンズ、アデル、エド・シーランなど音楽シーンをリードするミュージシャン、その他ファッション界でも英国の大学で専門教育を受けたアレキサンダー・マックイーン、ヴィヴィアン・ウエストウッド、ステラ・マッカートニーなどが世界をリードしています。



グラストンベリー・フェスティバルで泥だらけになるのが好きなタイプの人であろうと、ロイヤル・オペラハウスの上品な雰囲気を楽しむ人であろうと、どのような人でも真に心を震わせる何かが見つかります。

成長の機会を与えてくれる素晴らしい大学

英国は研究や学術面で世界的に高い評価を受けており、自分の才能を発見し、キャリアを積むには最適の場所といえます。また、イノベーションの国として知られ、産業革命からワールド・ワイド・ウェブの発明に至るまで、科学、文化、金融など多くの分野で常に最先端を走ってきました。

このイノベーションの文化から刺激を受けることで、自分自身の学習で高みを目指すことができます。世界で最も優秀な人材から学ぶことで、世界的に高く評価される洞察力と経験を身につけることができます。英国の大学院では高水準の教育を維持しつつも、多くの大学院で履修期間が他国より短く、費用も低く抑えられています。この国で学べば、皆さんの人生やキャリアの展望が広がるだけでなく、グローバルな労働市場で大きな競争力を獲得できます。



柔軟性と質の高い英国の教育

大学の学士課程や大学院への留学、語学留学、その他いずれの選択肢を検討している場合でも、あなたにとって最適な道を見つけることができるでしょう。英国の教育課程では、学生が関心を持つ分野を学べるよう何千ものオプションが用意されており、短期間で最大限の学習効果が得られるように設計されています。

英国の大学のプログラムには柔軟性があり、多種多様な科目モジュールから選択し、自分の関心事に合わせたコースプログラムを組むことができます。

英国の大学院プログラムは高い教育水準を誇り、修了までの期間が米国やオーストラリアより短いコースが多くなっています。また、一流のMBAコースも1年で修了できるものが数多くあり、費用対効果が高いだけでなく、社会により早く出て教育の成果を実地で発揮することができます。



英国の大学への出願プロセス

学ぶ科目を決めましょう：

関心があること、得意科目、学歴、キャリアゴールについて考えましょう

入学したい教育機関と学びたい履修コースを調べて候補リストを作成しましょう：

1. 各校の特徴、監査報告書等について調べましょう
2. 各校の入学要件をチェックして、入学資格があることを確認しましょう



大学、大学院のコース：

- 質保証機関（Quality Assurance Agency: QAA）などのウェブサイトを確認して、各教育機関の科目に関する専門性や研究機能についての監査報告書やランキング情報を調べてみましょう
- 各校の入学要件をチェックして、入学資格があることを確認しましょう
- 授業料や生活費の支払い能力があるか検討しましょう

（該当する場合）語学学校：

1. 認可を受けた語学学校を選びましょう
2. [次のステージに進む準備として英語コースを受講しましょう](#)



選んだ英国の教育機関に出願しましょう：

1. 入学要件をきちんと理解して、所定の手続きに従いましょう
2. 大学（学士課程）および進学準備プログラムへの出願は、Universities and College Admissions Service (UCAS)のウェブサイトから行います



上の2次元コードをスキャンしてUCASのウェブサイトアクセスできます



オファー（合格通知）を受領した後の手続き



大学から合否結果を受け取ります

2校以上から条件なし/条件付き合格通知を受領した場合：

どの大学からも合格通知が来なかった場合：

Clearingプロセスに入るか、別のコースに願書を提出します



Clearingについての詳細は左の2次元コードをスキャンして確認してください

学業面やそれ以外の要素を考慮して、入学する大学と履修コースを決めましょう：

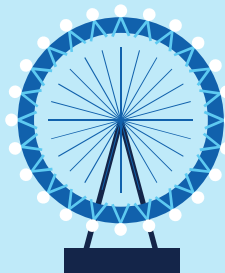
条件付き合格通知を受領した場合：

1. 合格を受諾します
2. 期限までに条件を満たします
3. Confirmation of Acceptance for Studies (CAS：入学証明)、その他の必要書類を受け取ります

条件なし合格通知を受領した場合：

1. 合格を受諾します
2. Confirmation of Acceptance for Studies (CAS：入学証明)、その他の必要書類を受け取ります

コースが始まる3カ月前に英国ビザを申請し、英国留学の準備をしましょう！





IELTS with the British Council just got better

- Results typically in **two days**
- **40 free** practice tests
- Access to **One Skill Retake**

Join millions of successful test takers by booking IELTS with the British Council



Scan to book
your test today

大学/学士課程コースで学ぶ

英国の大学(学士課程)への留学をきっかけにキャリアをスタートすることを目指している場合、英国で得られるものは世界トップクラスの教育にとどまりません。留学中にはあらゆる場で幅広い学習体験が得られ、卒業時には、未来を築いていくための自信、スキル、知識を身につけていることでしょう。

英国の高等教育機関には学士レベルで以下のような課程があります。

- **学士課程**: BA (Bachelor of Arts)、BSc (Bachelor of Science)、Bed (Bachelor of Education)、BEng (Bachelor of Engineering)の各学位。
フルタイムの学士課程は一般的に3年制です(コースや地域によっては4年制の場合もあります)。一部の総合大学やカレッジ(学士号を取得できるコースがあるHigher Education College)では、パートタイムの課程も提供されています。
- **短期課程**: Foundation Degree(学士号コースの最初の2年と同等レベルの学位で、修了後に学士号コース3年目への編入も可能)、Diploma of Higher Education(学士号コースの最初の2年と同等レベルの学位で、関連する分野の学士号コース3年目への編入も可能)、Higher National Diploma(2年のコースで、成績次第で学士号コース3年目への編入が可能)、Certificate of Higher Education(英国の高等教育課程で最も基礎レベルの資格で学士号コース1年目と同等レベルの学位)。

大学/学士課程コースの検索方法

英国には大学の学士レベルで5万を超える数のコースがあります。右の[2次元コード](#)をスキャンして、あなたにぴったりのコースを選んでください。



大学院/修士課程コースで学ぶ

高い教育水準、先進的な指導法、世界でも高い評価を得ている研究によって、英国の大学院は留学先として多くの学生から選ばれています。

以下は英国の大学院課程の主な種類です。

修士課程

- M.A (Master's of Arts)
- M.Sc (Master's of Science)
- M.Eng (Master's of Engineering)
- M.FA (Master's of Fine Arts)
- LL.M (Master's of Law)
- M.Arch (Master's of Architecture)
- M.Phil (Master's of Philosophy)
- MBA (Master's of Business Administration)

各科目に特化した学位は研究主体であり、通常はPhD(博士課程)に進む学生を対象としています。

フルタイムの修士号は通常1年で修了します(講義主流の taught master's コースの場合。研究主体の research master's の場合は2年のコースもあります)。一部の大学ではパートタイムのオプションも用意されています。



博士課程

ポストグラデュエート・ディプロマ (postgraduate diploma) および資格は通常、修士課程よりも履修期間が短く、卒業論文を必要としません。

大学院/修士課程コースの検索方法

英国の大学院が提供するコースの詳細については、右の[2次元コード](#)をスキャンして各校のウェブサイトをご覧ください。



その他のコースで学ぶ

大学や大学院のほかにも、英国留学には多くの選択肢があります。

Further education (義務教育後の継続教育) : 中等教育終了後の教育で、大学や大学院で行われる教育でないものを指します。継続教育を提供する英国の教育機関では、16歳以上の学生を対象に技術的・専門的な教育研修を提供しています。受けられる資格やトレーニングには、Aレベル (英国の大学入学資格)、Apprenticeship (養成訓練制度、企業に雇用されて働きながら訓練を受講)、Traineeship (若年者向け職業能力訓練制度)、職業資格、入門レベルのトレーニングなどがあります。

Foundation pathway courses (大学進学準備コース) : 留学生が英語力だけでなく、大学の学士レベルや大学院で学ぶための知識やスキルを身につけるコースです。日本の高校卒業後、英国の大学 (学士課程) に留学する場合、通常はまずはこのコースで学びます。

英語コース : 英国は、英語発祥の地、そして学問の分野で高い評価を得る国として、英語学習には最適です。

英国外で英国の学位を取得する方法

英国外で英国の高等教育の資格を取得できることをご存知ですか？
トランスナショナル教育(TNE)にはさまざまなオプションがあり、オンライン
コース、アーティキュレーション・パスウェイ、ジョイント・ディグリーなどが
含まれます。

各コースに関する情報、英国の資格を取得するその他の
オプションについては、右の[2次元コード](#)をスキャン
してご覧ください。



大学/学士課程への出願方法

大学の学士課程への入学を希望する場合、一般的にthe Universities and Colleges Admissions Service (UCAS)を通じて出願を行います。UCASによる出願では、UCASのウェブサイト(www.ucas.com)にアクセスし、出願システムに情報を登録します。UCASを使用して最大5つのコースに出願でき、各出願先大学・カレッジからの合格通知もUCASを通じて行われます。



www.ucas.com

出願スケジュール(期間、締切日)

情報を入手するには、UCASのウェブサイトを定期的にチェックして、最新のスケジュールを確認しましょう。Clearing期間は通常7月第1週から10月第3週までで、定員の空き状況が検索ツールに表示されます。

出願期限に関する最新情報は、右の[2次元コード](#)からご確認ください。



Clearingについて

Clearingとは英国の大学やカレッジが出願期限後に定員に空きがあるコースへの受け入れを許可するシステムです。

Clearingのプロセスは2024年7月5日に開始し、2024年10月21日まで行われます。UCASの検索ツールに定員の空きが表示されます。

まだ大学やカレッジから合格通知をひとつも受け取っておらず、コースに空きがある場合には、Clearingプロセスを利用してコースに出願できます。

Clearingを利用できるのは以下を満たす場合です：

- 6月30日を過ぎてから出願する場合。
- 合格通知をひとつも受け取っていない(あるいは、合格通知をもらった大学・カレッジのどこにも入学を希望しない。)場合。
- 条件付き仮合格をもらい、その条件を満たせなかった場合。
- 併願費用を支払っている。
- 第一志望校からの合格通知に対しUCASの自分のプロフィールページから「decline my place(辞退する)」を選択して入学を辞退した場合。

Clearingを利用する際に留意すべきこと：

- 分からないことがあれば教員やカウンセラーにアドバイスを求める。
- UCASの検索機能を用いて、空きのあるコースや入学要件について調べる。
- 第一希望以外の他の科目も検討してみる。
- 関心のある大学やカレッジに直接連絡する。
- Clearingを使って出願したい学校・コースをUCASの出願書に追加する。

最新の期日・期限に関してはUCASのウェブサイトをご覧ください。

英国の大学・大学院が提供するコースへの出願方法について、以下の[2次元コード](#)から動画でご覧になれます。



Clearingの詳細は、以下の[2次元コード](#)からUCASのウェブサイトでご覧ください。



英国の大学・学士課程コースへの出願方法の詳細は、以下の[2次元コード](#)からご確認ください。



大学院/修士課程への出願方法

英国の多くの大学院では、出願を各大学で受け付けていますので、各大学のウェブサイトから直接出願することが可能です。

大学院については出願期限を定めていないところも多く、定員に達すると出願を締め切る大学もあるので早めに出願した方がよいでしょう(コース開始の6カ月から1年前)。

英国の大学院・修士課程コースへの出願方法について、以下の2次元コードからご確認ください。



[Study UK website](https://www.studyuk.co.uk)



[Prospect website](https://www.prospect.ac.uk)



英国の大学およびカレッジに出願する際の要件・必要書類

- 資格証明書
- 志望動機書 (Personal statement)
- その他追加書類や情報

資格証明書

自分が持つ資格(高校卒業資格など)が英国の大学およびカレッジが入学にあたって認めている資格と同等であるかを確認するには、右の[2次元コード](#)をスキャンしてUK National Recognition Information Centre(英国資格審査センター)のウェブサイトをご覧ください。



志望動機書

英国の大学に出願する際は、志望動機書(personal statement)の提出が必要です。志望動機書には、志望科目を選んだ理由、自分がこの科目を受講するのにふさわしいと考える理由(スキルや経験)を記載します。

次の情報を参考にしてください：

- 各大学のウェブサイトには、コースの説明として、どのような資質、スキル、経験が必要か記載されています。自分自身がその要件を満たしている、あるいはふさわしいということを説明する。
- 志望動機を記載します。どの点に最も関心があるのかを具体的に述べる。また、自分の将来の希望を達成するにはそのコースがどのように役立つのかについても記載する。
- 自分がなぜそのコースを受けるのにふさわしいのかを、学歴に加えて、もしあれば職歴や、課外活動も含めて記載する。

志望動機書の書き方などについては、右の[2次元コード](#)をスキャンしてUCASのウェブサイトをご覧ください。



Study UK のウェブサイトでも志望動機書に関する情報を提供しています。右の[2次元コード](#)をスキャンしてください。



追加書類・情報

UCASは、あなたに代わり国際バカロレアなど大半の海外の試験や資格の結果を出願先に送信することができますが、その証明となる文書は自分で大学に送付することが必要な場合があります。

追加書類や情報についての出願先の大学の方針を各大学に確認してください。資格証明書や成績証明書の提出が必要な場合もあります。



学生ビザ

英国に留学する大半の学生は、学生ビザの取得が必要です。ビザの必要性は、右の2次元コードから[英国政府のウェブサイト](#)を確認してください。



学生ビザ(旧:Tier 4ビザ)

英国に留学する場合、通常は学生ビザの申請が必要となります。詳しくは自国政府機関の情報をご確認ください。

英国外から学生ビザを申請する場合の費用は490ポンドです。英国内での学生ビザの延長または切り替えにも同額の費用がかかります。詳細は、以下の2次元コードからご確認ください。



[GOV.UK website.](#)



[Study UK website.](#)

eVisa(電子ビザ)

eVisaは、あなたの在留資格と、英国への入国または滞在許可の条件を確認するデジタル記録です。eVisaを利用するには、UKVIアカウントを作成する必要があります。紙ベースからeVisaに切り替えたからといって、あなたの在留資格や英国への入国・滞在許可条件が変わることはありません。

2025年までに、各自のUKVIアカウントに登録する必要があるパスポートを除き、紙の書類を持たずに、eVisaで英国に渡航できるようになります。ただし、2024年末までは、紙の渡航書類を持っている場合は、引き続き携帯する必要があります。

最新情報は右の[2次元コード](#)からご確認ください。



右の[2次元コード](#)から、eVisaについて説明する動画をご覧ください。



ビザ申請のプロセスと必要書類

学生ビザの申請に必要な書類は以下のとおりです：

- 有効なパスポートまたはその他の有効な渡航書類
- 留学先の大学が発行するConfirmation of Acceptance for Studies(CAS:入学証明)

申請する国や状況によっては、追加書類の提出を求められることもあります。

必要書類についての詳細は、右の[2次元コード](#)からご確認ください。



申請方法

英国内から申請する場合は、現在の学生ビザの期間延長あるいは異なる種類のビザへの切り替えについてご確認ください。

学生ビザの申請についての詳細は、右の[2次元コード](#)からご確認ください。



ビザの取得にかかる時間

十分に時間の余裕をもって準備し、ビザ申請することをお勧めします。ビザの申請は、予定する渡航日の最大6カ月前から行うことができます。すぐにビザが必要な場合は、追加料金を払えば優先的に審査をしてもらうことができます。

卒業後の滞在延長資格

Graduate Routeビザ

英国は、留学生が卒業・修了後も就労や求職のために英国に滞在できるように、Graduate Routeビザを発行しています。学士課程や大学院（修士）の場合は修了後最長2年間、博士課程の場合は修了後最長3年間の滞在を申請できます。

ビザの申請費用とimmigration health surcharge（健康保険付加料）についての詳しい情報は、右の[2次元コード](#)からご確認ください。



Graduate routeについての詳細は、右の[2次元コード](#)をスキャンしてStudy UKのウェブサイトをご覧ください。



卒業後の就労についての詳細は、右の[2次元コード](#)からご確認ください。



留学費用、予算、奨学金

授業料

授業料は課程やコース、また留学先が英国のどの地域に所在するかより異なります(イングランド、スコットランド、北アイルランド、ウェールズにより規則が異なるため)。

留学生の学費は年間11,400ポンドから38,000ポンドで、大学の学士課程はスコットランドでは通常4年間、英国の他の地域では3年間です。

上記記載額はあくまで目安です。実際の授業料については、出願先の大学やカレッジに必ず確認してください。多くの場合、各校のウェブサイト情報が掲示されています。



生活費

生活にかかる費用は、地域ごとに異なり、ロンドンなどの大都市ではほかの地域よりも高くなります。住居賃借料、各種料金、交際費、その他の生活費として、ロンドンでは1カ月1,300～1,400ポンド、その他の地域では900～1,300ポンドを見積もることをおすすめします。

留学先の大学が、その地域の生活費の詳細や買い物の場所について詳しく教えてくれます。予算の算出には、右の[2次元コード](#)からUKCISAの留学生予算算出サイトを利用できます。



NUS(全国学生組合)のカードや国際学生証があれば、多くのショップ、レストラン、サービス等で学生割引が受けられます。カードについての詳細は、以下の2次元コードからご確認ください。



[Totum](#)



[ISIC](#)

奨学金および資金援助

英国留学費用のサポートが必要な学生のために、数多くの奨学金や資金援助プログラム等があります。また、独自の奨学金を提供している教育機関も多くあります。詳しくは各大学のウェブサイトを確認してください。

GREAT Scholarships(日本は対象外)

英国の大学院の1年間コースへの留学を希望する学生のための奨学金です。授業料を対象とした各奨学金の額は1万ポンド以上です。

この奨学金は、ブリティッシュ・カウンシル、GREAT Britain Campaign、英国高等教育機関の参加各校が資金を提供しているものです。

詳細は、右の[2次元コード](#)からご確認ください。



その他の奨学金

基準を満たしていれば、以下の大学院生向け奨学金も申請できます:

- チーヴニング奨学金: 将来リーダーになる可能性のある学生を対象として、英国政府が提供する大学院生向け奨学金。詳細は、右の[2次元コード](#)からご確認ください。



- ・英連邦奨学金・研究奨励金(日本国籍者は対象外):
英国政府が資金を提供する英連邦諸国の出身の
大学院生に提供される奨学金で、英国で学んだ後
に本国の発展に貢献できる人材を支援することを
目的とする。詳細は、右の[2次元コード](#)からご確認
ください。



対象国ごとの奨学金や資金援助

さまざまな奨学金がありますが、学生の出身国に条件が
課されているものなどもありますのでご注意ください。
詳細は、右の[2次元コード](#)からご確認ください。





英国での生活

大学所有の寮・滞在施設

ほとんどの大学やカレッジにはアコモデーション・オフィス(住居・滞在施設に関する事務を扱うオフィス)がありますので、まずそちらに問い合わせてください。通常、各機関では、留学生向けとして、寮(食事つき、あるいは、自炊)や、シェアハウス、フラットシェア(いずれも自炊)といった施設を持っています。数が限られていることが多いので、入学許可を受け取ったらできるだけ早く、締切日までには確実に申し込みましょう。

民間の滞在施設・住まい

民間の住まいについてもアコモデーション・オフィスに相談してみてください。近隣地域の民間施設・住居のリストを備えている場合もありますし、手配を手伝ってくれる場合もあります。

民間の住まいで最も一般的なのは、家の一室を借りてその家の各種設備を共有するというタイプです。家具付きの家やフラットを借りると、特に都心部においては高額になり、また物件数にも限りがあります。コストを抑えるにはほかの学生とシェアするという方法があります。そうする場合は、費用分担について事前に取り決めておくことをお勧めします。

食事

故郷から離れて一番恋しいものと言えば、食事と答える人も多いでしょう。一方で、食事が、英国での暮らしの楽しみのひとつになるかもしれません。大学生活では、食事や料理を通して、新しい食べ物やレシピに挑戦し、楽しむ良い機会になります。

毎月の食費は、ロンドンで1人あたり約155ポンド、その他の地域で116ポンドです。予算に応じてあらゆる価格帯のスーパーがあるので、いろいろな選択が可能です。

輸入食材を扱う店も増えています。友人とともに好きなものを楽しく食べたり、料理をしたりということもできるでしょう。学生生活の中で食事や料理を積極的に学ぶことも大切です。さまざまな地域や文化から生まれた、手早く簡単にできる料理の作り方をルームメイトに教えてもらうこともできるでしょう。

食事付きの大学寮に住むと、通常は月曜から金曜まで朝食と夕食が提供されます。週末は調理設備の使用が制限される場合が多いので回数は減りますが、少なくとも何回かは食事が提供されます。詳細はそれぞれの滞在施設に問い合わせてください。



余暇の過ごし方

大学のキャンパスでは、学生自治会(Student's Union)が主催する交流イベントや団体・クラブ活動に参加することもできます。英国は芸術・文化が盛んで、美術館・博物館、劇場、その他多くの文化施設を訪れることもできます。

英国のレストランは種類が豊富で、パブも社交の場として人気が高い場所です。パブではアルコール以外の飲み物も提供され、カラオケ、サッカーの試合の上映、パブ・クイズ(チーム対抗戦の週1回のイベント)などを楽しめます。

英国にはO2アリーナやグラストンベリー・フェスティバルなど、大規模なライブ会場やイベントがありますが、多くの大学にも小規模なライブ会場があります。ほとんどの都市には映画館があり、メジャーな映画や自主制作映画を安価な学生向け料金で見ることができます。

スポーツファンにとっては、英国には情熱を注ぐことができるさまざまな選択肢があります。スポーツ文化が盛んでトップクラスのアスリートが活躍する英国では、勉強のかたわら、世界的なチーム競技から個人競技まで、さまざまなスポーツを楽しむことができます。



英国の天候と服装

英国の天候は予想が難しいのですが、日本と比べて夏の暑さや冬の寒さは穏やかです。英国の天候は地域により大きく異なるため、居住する予定の地域の天候や気温を確認しておきましょう。重ね着をして、天候の変化に応じて服を調整できるようにし、また、必ず傘を持ち歩きましょう。

英国の町や都市には、あらゆるスタイルや予算に応じた衣料品店が各種あります。通常、学生の日中の服装はカジュアルで、ジーンズとTシャツが一般的です。夜に出かけるときにはもう少しおしゃれをします。

履修するコースによっては安全のために、白衣や防護眼鏡など特別な服装をしなければならないこともあります。大学によって、こうしたものが支給されるところもあれば、自費で購入する必要があるところもあります。

英国は多文化の国ですから、文化や宗教に関連した衣類、たとえば、ヘッドスカーフ、キッパ、ターバン、サリーなどをよく見かけます。大都市には、さまざまな衣類、特にアジアや中東の衣類の専門店があります。



英国の四季

英国の天気を調べる方法はいろいろあります。例えば、スマートフォンには天気を調べられるアプリが搭載されています。英国の天気予報ネットワークとして定評があるのは、Met OfficeとBBCの天気予報です。



春

春は通常、春分の日（北半球では3月20日前後）に始まります。英国の春はやや乾燥しています。



夏

英国の夏は6月、7月、8月の3カ月間で、夏至の日（一般には6月21日前後）から始まります。夏至は1年の中で昼が最も長い日です。



秋

英国の秋は、秋分の日（9月22日）ごろ始まり、11月まで続きます。この季節の特徴は、気温が次第に低くなることで、特に朝晩の冷え込みが顕著になります。秋が深まるにつれて天候は不安定になり、秋が半分も過ぎる頃には雨や曇り空が多くなります。



冬

冬は冬至の日（北半球では12月22日前後）に始まります。冬至は1年で最も昼が短い日で、冬至を過ぎると、昼が長くなり始めます。

英国の魅力を探る

にぎやかな都市から、雪を頂く山々、なだらかに続く緑豊かな丘、高原や島々まで、英国は探求すべき魅力にあふれています。比較的小さな国で交通網が発達していますので、留学中に国内各地を訪れることができます。たとえば、ロンドンには魅惑あふれる歴史や、象徴的な建築物、最先端のファッション、劇場があり、食事を楽しむことができます。マンチェスターやリバプールといった北部の都市には、有名サッカーチームがあり、ナイトライフも充実しています。スコットランドには、美しい自然と活気あふれる都市が混在するという素晴らしい魅力があります。ウェールズの国立公園のみごとな景観、北アイルランドの目をみはるような海岸線も見逃せません。

英国の魅力を探るための情報については以下の[2次元コード](#)からご確認ください。



健康と安全

英国は世界有数の保健医療制度と世界的に評価の高い治安維持体制を備え、犯罪率が低いことから、安心かつ安全に勉学に励むことができます。

英国のNHS(National Health Service:国民保健サービス)は国の保健医療制度であり、安全かつ最新の治療が受けられます。NHS(National Health Service:国民保健サービス)を利用するには、ビザ申請時の費用の一部として、immigration health surcharge(健康保険付加料)を支払う必要があります。

英国には信頼できる警察があり、さらに、多くの教育機関では警備スタッフを配置し学内のパトロールも行われています。



英国における宗教

英国ではオープンでインクルーシブな社会として、あらゆる宗教の学生が歓迎されていると感ずることができるといふでしょう。また、宗教に於ける祈りや食事制限などの信仰を実践する場も数多くあります。多文化主義の歴史が数百年にもわたるこの国では、主な宗教についてはしっかりとした基盤を持つコミュニティがありますし、また、教育機関でも学生の宗教面のニーズに対応することに真摯に取り組んでいます。

英国の人々は英国がインクルーシブな社会を目指していることに誇りを持っています。また、人種、国籍、宗教による差別は法律で禁止されています。



その他の情報

役に立つリンク

英国留学、また英国留学が提供する機会について詳しくは右の[2次元コード](#)からご確認ください。



留学エージェント選びのガイドブック(英語)は右の[2次元コード](#)からご確認ください。



Social media



https://www.facebook.com/StudyUK_BritishCouncil



https://www.instagram.com/StudyUK_BritishCouncil/



 <https://twitter.com/StudyUKBritish>



 www.linkedin.com/showcase/study-uk-british-council/



 <https://www.youtube.com/user/StudyInTheUK>



 https://www.tiktok.com/@studyuk_britishcouncil



 <https://open.spotify.com/user/fuz79snssaf2ilfqtbapdent>



 <https://weibo.com/educationuk>





Study UK



Search **Study UK**



©British Council 2024